



HONGO JOURNAL

本郷中学校・高等学校
HONGO JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

VOICE

憧れの先輩とどんな時も見つめ支えてくれる先生方の下で

私が生徒会に携わりたいと思ったのは、高校生の生徒会長である原田さんに憧れたのがきっかけでした。朝の読書の時間に広報誌を配り、堂々と説明している原田さんの姿を見て「自分もこうなりたい」と思えたからです。生徒会に入り一番嬉しかったことは、今年の競技大会での経験です。当日急に天候が悪くなり、当初の予定通り進めることが難しくなりましたが、生徒会の皆と協力してタイムテーブルを変えたり安全性を再度考慮したりして…無事に終えた時には大きな充実感を得ることができました。本郷ではどんな時にも、自分の考えや持てる力を思うように出させてくれます。それは、失敗しても先生方がちゃんと支えてくれるという安心感があるからです。



中学生生徒会長 人見 達也

自分の可能性を引き出してくれる最高の環境です



私は小学生の頃にも学校の生徒会長をしていましたが、当時は先生に与えられてこなしていくというイメージでした。ところが本郷では先生方が自主性を重んじてくれます。先生から提案していただくのではなく、自分で考えて行動をします。その校風に感銘を受け、生徒会に入って色々なことに挑戦したいと思いました。生徒の代表としての活動は、生徒の意見を聞き、生徒会でまとめ、先生に提案する。私にとってそのプロセスを達成していく過程は、とても大きなやりがいとなり自信にも繋がっています。本郷ではやってみたいと思うことを実現させてくれます。これからここで学生生活を送りたいと思っている方は、ぜひイメージを思い描きながら勉強に励んでください。

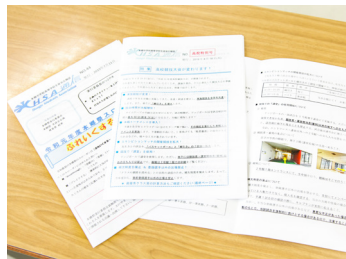
高校生生徒会長 原田 大希

TOPICS

生徒会の取り組みや生徒としての視点を ビジュアルで表現する媒体

ひと月に1回を目標として、生徒会で発行している広報誌。生徒会の中で内容を決め、会員一人一人面談をして、取材・撮影・デザインなどの役割分担をした上で制作をします。内容は、生徒のアンケートから改善点を探り取り組んだ結果や、次のイベントの告知、生徒会の紹介など様々。

朝の読書の会の時間に生徒会役員が各クラスに回り配布、説明をします。生徒と先生の架け橋となる生徒会のきめ細やかな視点は、広報誌の枠を超えた個々に寄り添う内容になっていると評判です。





本質を捉え 進化し続ける本郷の 主軸を担う生徒会

本郷の先生は生徒のサポート役に徹し生徒は主体性を身に付けていきます。その象徴となるのが生徒会中央委員会。厳正に時には柔軟に切磋琢磨し充実した学校生活を作り上げています。



POINT 01 生徒会

選挙で選出された生徒会役員による 学校行事の向上に努める生徒会中央委員会

本校の生徒会は「生徒会中央委員会」と呼ばれ、中高の生徒が一体となった組織として運営しています。役員は5月の選挙によって選出され、「執行部」には中高の各会長1人と副会長2人の計6人が所属。その他役員は会長と面談の上、各グループに配属されます。

「生徒会中央委員会」は「執行部」から枝分かれをし、「生活向上グループ」「総務グループ」「会計グループ」「映像グループ」「広報グループ」「外務グループ」で形成されています。それぞれの活動内容は、「生活向上グループ」は生徒からアンケートを募り目標を立て、先生と交渉をし反映させること。

「総務グループ」は表彰式の介添えや会議資料の整理、また校内の広い管理業務も行います。近年ではコンタクトレンズの空ケースをリサイクルし、目の障がい者への寄付金とする活動も行いました。「会計グループ」は予算立て、「映像グループ」は学校説明会時に流すビデオ撮影や編集、「広報グルー



プ」は広報誌の発行やホームページの更新、「外務グループ」は他校の生徒会との交流や意見交換を行います。

毎月中旬に1回、中高の生徒会が全員集まり今後の活動を決めていきます。明確な目的意識を持った精鋭たちが、より良いスクールライフを送るための改革をし続けています。

POINT 02 生徒会が運営する行事

やりたいことを具現化し 楽しさの中で成功へのプロセスを学ぶ

まず「体育祭」「本郷祭」「夏休み体験会」など、対外的な活動を主と行います。「体育祭」ではパンフレットを制作し配布。当日はホームページ上でリアルタイム速報を流すことにより、臨場感を味わうことができます。「本郷祭」は毎年多くの来場者があるイベントです。恒例の「過去問解説会」をはじめ、近年は「HONGO FESグランプリ」「フォトウォーク」「展示」「スタンプラリー」「フォトコンテスト」など、楽しみの中で本郷を知ってもらう催し物を企画しました。

もう一つの活動は、対内的な活動の運営です。本郷に入学をすると中学1年生はどれか1つの部活動に所属するため、「部活動紹介」は高い関心が集

まります。今年は各部に「視覚的な活動の紹介」を求めました。結果、パワーポイントや動画を通じて部活動が紹介され、新入生がより意欲的に各部活へ入部することができました。「競技大会」においては、毎年大会終了後にアンケートを取り、生徒会が新体制

になる11月に次年度のルールを形成します。「生徒総会」は、5月の終わりに生徒会役員に立候補する新入生を選出します。

また日常的には、生徒の意見を汲み取り先生に提案をして実行するといった、より良い環境作りに励んでいます。



TOPICS

【入試過去問題の解説授業】

「伝えること」は「より知ること」。自身の成長を促し、受験生と目線で問題を解説する

これから本郷を目指す小学生を対象に、在校生が過去問題を解説する授業です。この授業は「合同授業」の経験から、「少し上の先輩から教えてもらう」という新たな角度での学習法をきっかけに、生徒会のメンバーで考案しました。オープンキャンパスと本郷祭の年2回をベースに実施しています。目的は本郷を知ってもらうことであるため、実際に本郷の教室で、実際の過去問題の中から問題を選出し、解説をしています。受講予約はホームページから受け付けており、オープンキャンパスでは160名、本郷祭では総勢600名の枠がいつも満員になるほど。

受験に成功して本郷の一員となっている先輩も、過去には同じように本郷を目指して受験勉強に取り組んできました。その先輩が夏休み期間を使って「いかに伝えるか」を試行錯誤して教壇に立つため、理解しやすく刺激になったとの評価を受けています。授業に取り組む小学生の姿は真剣そのもの。イベントの最後にはそんな未来の本郷生に向けて、温かい応援メッセージを送っています。

